
君と代わってそのあとに

しんめっと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と代わってそのあとに

【Nコード】

N5241U

【作者名】

しんめつと

【あらすじ】

表現の自由。

そんなこというけれど、自由じゃない。

誰もが与えられる自由のはずなのに・・・

.....

マサカズは思う。受験勉強して、受験して大学はいつて、落ちたら

落ちたで、なんとなく、なんとなく先は見えてる。

落ちても受かっても、

『どうせ死ぬんだ。』

でも、どうせ死ぬならなにか言い放って死にたいじゃないか。

マサカズは探す。表現の方法。表現の自由を。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

多趣味な高3、マサカズが将来について考えて動いて悩みそして、放棄してただ一日を終えることだけを考えていた。

そんな時、天才ピアニスト矢島マサキの演奏によって無理矢理にも将来、才能、自分について考えることを余儀なくされたマサカズ。がむしゃらに走り、しゃにむにに挑戦し、逆らって死ぬ。

死んだ後の視界は、天国でも地獄でもない、天才ピアニスト矢島マサキの意識だった。天才ピアニスト（仮）となったマサカズは凡人の苦悩など少年のころ殺しまくった兵隊アリにも満たない小さなものだと、思い知るのだった。

1、表現の自由性（前書き）

小説をかくのはほぼ初めてなので適当に流し見してくださいとありがたいです。

1、表現の自由性

「君は死ぬはずだよ。」

表現者は世界にたくさんいます。

絵で表現する人は画家です。それ以外にもあるとは思いますが、音で表現する人はピアニストです。ほかにもあると思いますが、

体で表現する人達もいます。あの人たちは踊るおどるダンサーです。

この世界にはいろんな表現の方法があります。

でも、表現できる人は限られます。

表現できない人だっています。

したくてもできない人だっています。

いろんな方法で、いろんな仕方でも試しても試しても分かってもらえない。そんな人たちが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5241u/>

君と代わってそのあとに

2011年10月9日10時18分発行